

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2015
Jtitle	新版 窮理図解 No.19 (2015. 7) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000019-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の 本棚

My favorite books



● Aerosol Measurement: Principles, Techniques, and Applications

私が専門とするエアロゾル科学に関して、「測る」という観点から網羅的に解説されている本です。写真は Second Edition ですが、現在は Third Edition まで出ています。1000 ページを超える分量で、事典のように利用できます。新しい研究アイデアを思いついた時には、まずこの本を調べて、すでに過去に解明されているものではないかを確認します。

● **日本の論点** 環境問題は、半分以上は人間社会の問題ですので、最新の社会情勢に常に目を向けていることは重要です。私も、大前研一氏ほどではないかもしれませんが、どのようにしたらより良い社会を構築できるか、ということには常に興味を持っています。

● **(おまけ) バンドの CD 2 枚** 1st album “rise in the rainbow” と、2nd album “from the center of fountain” です。2 枚目のリリースと同時にバンドは解散してしまいましたが、良い思い出です。演奏やコーラスに加え、作詞や作曲、CD 制作時のレコーディングエンジニアにミキシング、ジャケットデザインなども担当しました。

● Introduction to Atmospheric Chemistry (和訳本は「大気化学入門」)

エアロゾル科学は、媒体である大気中における媒質としての粒子を扱う学問ですが、媒体としての大気そのものを理解することも非常に重要です。原典は英語版ですが、同一内容の日本語訳本が出ているため、初学者には特にお薦めです。

● エアロゾル学の基礎

エアロゾル科学は、大気環境のほかに、労働衛生、クリーンルーム、粉体輸送、薬品工学など、様々な分野と密接に関連しています。本書はこれらの基礎となる重要な部分を対象としたもので、200 ページ程度とそれほど厚いものではありませんが、内容を全て理解するのは研究者であっても簡単ではありません。

● **アイデアのつくり方** 社会人同士の勉強会で題材となった本です。わずか 58 ページと短く、原著の初版は 1940 年と古い本ですが、名著です。マーケティングやビジネスにおけるアイデア論なのですが、対象を「研究」に置き換えてもそのまま現代に通じます。巻末の言葉が心に刺さるので、紹介します。「最後に一つ、重要な注意事項がある。それは方法論や道具に凝ることなく、直ちに仕事を始めよということである」。

● **禅の言葉に学ぶていねいな暮らしと美しい人生** 人生にはなかなかうまくいかない時もたくさんあります。心が騒がしくなった時、落ち着く方法を知っておくことは悪いことではないでしょう。かのスティーブ・ジョブズ氏も、禅の影響を受けていたことは有名な話です。「これからは、ていねいな暮らしを心がけよう」と思うことができる本です。